

漂着物学会誌投稿規程

平成 25 年 3 月 1 日改正

1. 投稿者の少なくとも 1 人は、本会会員でなければならない。ただし、本会が依頼した場合は、この限りではない。
2. 原稿の種別は、原著論文、総説、短報（原則として刷り上がり 2 ページ以内のもの）および雑録とする。
3. 投稿された原稿は専門家に校閲を依頼し、採否は、編集委員会が決定する。内容・体裁に問題があると判断された場合は、投稿者に通知して改正を求める。
4. 投稿原稿は、A4 サイズで 400 字詰め横書きの原稿用紙を使用する。ワードプロセッサ等の機器で原稿を作成するときは、A4 サイズの用紙に 1 行 35 字、30 行程度で作成する。原則として印刷時に 6 ページに収まるようにする。これを超える分については、1 頁につき 10,000 円を投稿者負担とする。
5. 学名、欧文は半角文字で記し、句読点はそれぞれピリオッド (.) カンマ (,) とする。数字は、1 ケタは全角、2 ケタ以上は半角文字とし、単位はメートル法を用い、以下のように表す。(例) 50 mm, 5 ml (数字 1 ケタが全角ならば), 100 m
6. 原稿は、和文のタイトル・氏名の下に、英文タイトル、氏名、住所、要約または Abstract、さらに Key words として内容を適切に表現する英単語を 5 つ以内を選び、Abstract(要約)の次に行を変えてアルファベット順に付ける。筆者の連絡先を日本語と英語で脚注に付記する。ただし、短報と雑録は Abstract, Key word は不要であるが、英文の summary を本文の最後につけてもよい。
7. 図はそのまま製版できる状態に作成する。写真は白黒、カラーいずれでもよいが、印刷は白黒となる。図および写真は印刷される大きさの 1.5 倍程度とするのが望ましい。なお、図のカラー印刷は著者負担とし、刷り上がり 1 頁につき、20,000 円の印刷費を必要とする。
8. 図(写真を含む)と表は 1 種類ずつ A4 の別書き、それぞれ通し番号(図 1, 表 1 など)をつけ、裏に筆者名を記入する。図のタイトルと説明は別紙に一括して書く。また、表と図を入れる場所を本文原稿の欄外に明示する。折り込みとなるような大きさのものは避ける。

9. 文献は、本文中に引用した文献のみをリストし、和文、欧文を含めて、筆者名のアルファベット順に配列する。

10. 引用文献は次の形式にする。論文の場合：筆者名、発行年、表題、掲載雑誌名、巻、ページ。

(例)：中西弘樹. 1983. 熱帯植物の散布体の漂着 1. 海洋と生物 24:57-61. (例)：Nakanishi,H.1983. Drift fruits and seeds on the coast of the Yaeyama Islands, southernmost of Japan. Jour. Phytogeo. & Tax. 31:22-30.

単行本の場合：筆者名、発行年、書名、ページ数、出版社名（発行所）、発行地 (例)：石井 忠. 1999. 新編漂着物事典.380pp., 海鳥社, 福岡.

本文中には以下のように引用する。(例)：最初に松本（1900）が記録したが、その後各地から報告されてきた（藤枝 1998; 鈴木 2000, 2001; Michida 2001).

11. 原稿は本文、図、表を含め、原本 1 部、そのコピー 2 部、合計 3 部、および送り状を作成し、下記に示す宛先に送る。

〒002-8502 札幌市北区あいの里5条3丁目1

北海道教育大学札幌校地学研究室

漂着物学会編集委員長 鈴木明彦宛

12. 原稿送付時には学会誌にある送り状（コピーでもよい）を記入し、同封すること。

13. 受理された原稿については、本文・図表等のデータ一式を CD, DVD 等の電子メディアで郵送するか、データ一式を電子メールの添付ファイルにて編集委員会まで送付する（氏名のほか、パソコンの機種、ソフト名、ファイル名を明記する）。なお、投稿時には電子メディア等は不要である。

14. 受理された論文については、電子アーカイブ化と学会ウェブサイトでの公開に関して、その可否を著作権譲渡承諾書にて提出する。

15. 論文の筆頭著者には、白黒の pdf ファイルを無償で贈呈する（カラー印刷の著者の場合はカラーの pdf ファイル）。なお、カラーの pdf ファイルを別途希望する場合は、1 論文につき 5,000 円を負担する。

16. 別刷りを希望する場合は有料とし、その費用は筆者負担とする。なお、別刷りは 50 部単位で受け付ける。